

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月31日

協議会名: 飯田市地域公共交通改善市民会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
信南交通(株)	系統名:路線バス遠山郷線 運行区間:かぐらの湯～上町～飯田駅	広報紙や時刻表、例年より多くの出前講座の開催により、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ安心して利用していただけよう呼びかけ、利用の促進を図った。 市民会議部会にて路線の持続のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。 「公共交通の日」(運賃割引)を実施した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 目標である1運行あたりの乗車人数6.9人に対し、6.3人となり、目標達成率は91%。コロナ禍の影響も継続されているが、沿線住民の人口減少、特に少子化により通学に利用する高校生の減少の影響が大きい。	市広報紙での周知および実地乗車体験も含めた出前講座を開催することにより、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。利用促進、路線の持続について意見交換や検討のための市民会議路線部会開催の時期の見直しを行う。 引き続き車両の消毒と換気の徹底や乗車時のマスク着用や会話自粛のお願いなどコロナ感染拡大予防対策をとり、安全安心に利用いただけるようバス時刻表等を通じて広報していく。
信南交通(株)(R3.10～R4.3) 遠山タクシー(有)(R4.4～9)	系統名:路線バス平岡線 運行区間:和田～名古屋～平岡	広報紙や時刻表、例年より多くの出前講座の開催により、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ安心して利用していただけよう呼びかけ、利用の促進を図った。 市民会議部会にて路線の持続のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。 「公共交通の日」(運賃割引)を実施した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 目標である1運行あたりの乗車人数2.0人に対し、上半期1.4人・下半期1.6人で約1.5人となり、目標達成率は75%。沿線住民の人口減少、特に少子化により通学に利用する高校生の減少の影響が大きい。	市広報紙での周知および実地乗車体験も含めた出前講座を開催することにより、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。利用促進、路線の持続について意見交換や検討のための市民会議路線部会開催の時期の見直しを行う。 引き続き車両の消毒と換気の徹底や乗車時のマスク着用や会話自粛のお願いなどコロナ感染拡大予防対策をとり、安全安心に利用いただけるようバス時刻表等を通じて広報していく。
信南交通(株)	系統名:路線バス阿島循環線 運行区間:飯田病院前～イオン～飯田病院前	広報紙や時刻表、例年より多くの出前講座の開催により、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ安心して利用していただけよう呼びかけ、利用の促進を図った。 市民会議部会にて路線の持続のための地域住民・事業者・行政にて意見交換を行った。 「公共交通の日」(運賃割引)を実施した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 目標である1運行あたりの乗車人数10.9人に対し、12.2人となり、目標達成率は112%。コロナ禍前の利用状況に回復しつつある。	市広報紙での周知および実地乗車体験も含めた出前講座を開催することにより、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。利用促進、路線の持続について意見交換や検討のための市民会議路線部会開催の時期の見直しを行う。 引き続き車両の消毒と換気の徹底や乗車時のマスク着用や会話自粛のお願いなどコロナ感染拡大予防対策をとり、安全安心に利用いただけるようバス時刻表等を通じて広報していく。
信南交通(株)	系統名:路線バス阿島循環線(ほっ湯アップル経由) 運行区間:飯田病院前～ほっ湯アップル～飯田病院前	広報紙や時刻表、例年より多くの出前講座の開催により、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ安心して利用していただけよう呼びかけ、利用の促進を図った。 市民会議部会にて路線の持続のための地域住民・事業者・行政等にて意見交換を行った。 「公共交通の日」(運賃割引)を実施した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 目標である1運行あたりの乗車人数7.0人に対し、8.3人となり、目標達成率は119%。コロナ禍前の利用状況に回復しつつある。	市広報紙での周知および実地乗車体験も含めた出前講座を開催することにより、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。利用促進、路線の持続について意見交換や検討のための市民会議路線部会開催の時期の見直しを行う。 引き続き車両の消毒と換気の徹底や乗車時のマスク着用や会話自粛のお願いなどコロナ感染拡大予防対策をとり、安全安心に利用いただけるようバス時刻表等を通じて広報していく。

南信州広域タクシー(有)	系統名:市民バス千代線 運行区間:法全寺~市立病院 ~飯田駅前	広報紙や時刻表、例年より多くの出前講座の開催により、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ安心して利用していただけよう呼びかけ、利用の促進を図った。市民会議部会にて路線の持続のための地域住民・事業者・行政等にて意見交換を行った。「公共交通の日」(運賃割引)を実施した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A 目標である1運行あたりの乗車人数4.7人に対し、6.3人となり、目標達成率は134%。コロナ禍前の利用状況に回復しつつあり、また、沿線小学生の利用が定着化してきている。	市広報紙での周知および実地乗車体験も含めた出前講座を開催することにより、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。利用促進、路線の持続について意見交換や検討のための市民会議路線部会開催の時期の見直しを行う。引き続き車両の消毒と換気の徹底や乗車時のマスク着用や会話自粛のお願いなどコロナ感染拡大予防対策をとり、安全安心に利用いただけるようバス時刻表等を通じて広報していく。
南信州広域タクシー(有)	系統名:市民バス久堅線 運行区間:平栗車庫~市立病院 ~飯田駅前	広報紙や時刻表、例年より多くの出前講座の開催により、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ安心して利用していただけよう呼びかけ、利用の促進を図った。市民会議部会にて路線の持続のための地域住民・事業者・行政等にて意見交換を行った。「公共交通の日」(運賃割引)を実施した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C 目標である1運行あたりの乗車人数4.6人に対し、4.5人となり、目標達成率は98%。コロナ禍の影響も継続されているが、沿線住民の人口減少、特に少子化により通学に利用する高校生の減少の影響が大きい。	市広報紙での周知および実地乗車体験も含めた出前講座を開催することにより、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。利用促進、路線の持続について意見交換や検討のための市民会議路線部会開催の時期の見直しを行う。引き続き車両の消毒と換気の徹底や乗車時のマスク着用や会話自粛のお願いなどコロナ感染拡大予防対策をとり、安全安心に利用いただけるようバス時刻表等を通じて広報していく。
南信州広域タクシー(有)	系統名:市民バス三穂線 運行区間:立石~市立病院~ 飯田駅前	広報紙や時刻表、例年より多くの出前講座の開催により、高齢者の公共交通に対する不安を和らげ安心して利用していただけよう呼びかけ、利用の促進を図った。市民会議部会にて路線の持続のための地域住民・事業者・行政等にて意見交換を行った。「公共交通の日」(運賃割引)を実施した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A 目標である1運行あたりの乗車人数6.4人に対し、7.5人となり、目標達成率は117%。特に高校生において、コロナ禍前の利用状況に回復しつつある。	市広報紙での周知および実地乗車体験も含めた出前講座を開催することにより、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。利用促進、路線の持続について意見交換や検討のための市民会議路線部会開催の時期の見直しを行う。引き続き車両の消毒と換気の徹底や乗車時のマスク着用や会話自粛のお願いなどコロナ感染拡大予防対策をとり、安全安心に利用いただけるようバス時刻表等を通じて広報していく。
南信州広域タクシー(有)	系統名:乗合タクシー竜東線 (千代) 運行区間:千代、龍江、竜丘、 松尾	乗合タクシーの利用方法について、広報誌や時刻表、地域の会議などで例年より多くの出前講座による説明や実地乗車を行なうことにより、高齢者の乗合タクシー利用に対する不安を和らげ安心して利用していただけよう働きかけ、利用の促進を図った。市民会議部会にて路線の持続のための地域住民・事業者・行政等にて意見交換を行った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C 目標である1運行あたりの乗車人数2.3人に対し、2.0人となり、目標達成率は87%。新型コロナウイルス感染症による高齢者の外出控えが引き続いていること、固定客の減少の影響。	市広報紙での周知および実地乗車体験も含めた出前講座を開催することにより、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。利用促進、路線の持続について意見交換や検討のための市民会議路線部会開催の時期の見直しを行う。引き続き車両の消毒と換気の徹底や乗車時のマスク着用や会話自粛のお願いなどコロナ感染拡大予防対策をとり、安全安心に利用いただけるようバス時刻表等を通じて広報していく。
南信州広域タクシー(有)、 (有)飯田タクシー	系統名:乗合タクシー竜東線 (久堅) 運行区間:上久堅、下久堅、松 尾	乗合タクシーの利用方法について、広報誌や時刻表、地域の会議などで例年より多くの出前講座による説明や実地乗車を行なうことにより、高齢者の乗合タクシー利用に対する不安を和らげ安心して利用していただけよう働きかけ、利用の促進を図った。市民会議部会にて路線の持続のための地域住民・事業者・行政等にて意見交換を行った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C 目標である1運行あたりの乗車人数2.0人に対し、1.9人となり、目標達成率は95%。新型コロナウイルス感染症による高齢者の外出控えが引き続いていること、固定客の減少の影響。	市広報紙での周知および実地乗車体験も含めた出前講座を開催することにより、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。利用促進、路線の持続について意見交換や検討のための市民会議路線部会開催の時期の見直しを行う。引き続き車両の消毒と換気の徹底や乗車時のマスク着用や会話自粛のお願いなどコロナ感染拡大予防対策をとり、安全安心に利用いただけるようバス時刻表等を通じて広報していく。

南信州広域タクシー(有)	系統名: 乗合タクシー-遠山郷高校通学支援線 運行区間: 飯田高校前~和田	広報紙等を使い、高校生利用の促進を図った。市民会議部会にて路線の持続のための地域住民・PTA・事業者・行政にて意見交換を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 目標である1運行あたりの乗車人数1.8人に対し、2.7人となり、目標達成率は150%。遠山郷地域高校生の通学的手段として浸透してきている。	市広報紙での周知だけでなく、地域にて中学3年生向けに広報する等、新たな利用者となりうる対象者や家庭へ呼びかけ、確保に取り組む。利用促進、路線の持続について意見交換や検討のための市民会議路線部会開催の時期の見直しを行う。引き続き車両の消毒と換気の徹底や乗車時のマスク着用や会話自粛のお願いなどコロナ感染拡大予防対策をとり、安全安心に利用いただけるようバス時刻表等を通じて広報していく。
朝日交通(株)	系統名: 乗合タクシー-三穂線 運行区間: 三穂、山本、伊賀良	乗合タクシーの利用方法について、広報誌や時刻表、地域の会議などで例年より多くの出前講座による説明や実地乗車を行なうことにより、高齢者の乗合タクシー利用に対する不安を和らげ安心して利用していただけるよう働きかけ、利用の促進を図った。市民会議部会にて路線の持続のための地域住民・事業者・行政等にて意見交換を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 目標である1運行あたりの乗車人数2.9人に対し、1.8人となり、目標達成率は62%。新型コロナウイルス感染症による高齢者の外出控えが引き続いていること、固定客の減少の影響。	市広報紙での周知および実地乗車体験も含めた出前講座を開催することにより、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。利用促進、路線の持続について意見交換や検討のための市民会議路線部会開催の時期の見直しを行う。引き続き車両の消毒と換気の徹底や乗車時のマスク着用や会話自粛のお願いなどコロナ感染拡大予防対策をとり、安全安心に利用いただけるようバス時刻表等を通じて広報していく。
遠山タクシー(有)	系統名: 乗合タクシー-平岡線 運行区間: 南信濃地区、天龍村	乗合タクシーの利用方法について、広報誌や時刻表、地域の会議などで例年より多くの出前講座による説明や実地乗車を行なうことにより、高齢者の乗合タクシー利用に対する不安を和らげ安心して利用していただけるよう働きかけ、利用の促進を図った。市民会議部会にて路線の持続のための地域住民・事業者・行政等にて意見交換を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 目標である1運行あたりの乗車人数2.0人に対し、1.5人となり、目標達成率は75%。コロナ禍の影響も継続されているが、沿線住民の人口減少、特に少子化により通学に利用する高校生の減少、また、観光客・登山客の減少による影響が大きい。	市広報紙での周知および実地乗車体験も含めた出前講座を開催することにより、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。利用促進、路線の持続について意見交換や検討のための市民会議路線部会開催の時期の見直しを行う。引き続き車両の消毒と換気の徹底や乗車時のマスク着用や会話自粛のお願いなどコロナ感染拡大予防対策をとり、安全安心に利用いただけるようバス時刻表等を通じて広報していく。
北部タクシー(有)、 第一観光タクシー(株)	系統名: 乗合タクシー-上市田線 運行区間: 高森町、座光寺、上郷	乗合タクシーの利用方法について、広報誌や時刻表、地域の会議などで例年より多くの出前講座による説明や実地乗車を行なうことにより、高齢者の乗合タクシー利用に対する不安を和らげ安心して利用していただけるよう働きかけ、利用の促進を図った。市民会議部会にて路線の持続のための地域住民・事業者・行政等にて意見交換を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 目標である1運行あたりの乗車人数2.0人に対し、1.9人となり、目標達成率は95%。新型コロナウイルス感染症による高齢者の外出控えが引き続いていることと、固定客の減少の影響。	市広報紙での周知および実地乗車体験も含めた出前講座を開催することにより、新たな利用者の開拓、確保に取り組む。利用促進、路線の持続について意見交換や検討のための市民会議路線部会開催の時期の見直しを行う。引き続き車両の消毒と換気の徹底や乗車時のマスク着用や会話自粛のお願いなどコロナ感染拡大予防対策をとり、安全安心に利用いただけるようバス時刻表等を通じて広報していく。